

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 こどもサポート はるかぜ 保護者等数(児童数) 1(1) 回収数 1(1) 割合 100 %

	チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	1				・中央フロアにテーブルを配置しておりますが、活動内容によって撤収したりと工夫しております。子ども達がリラックスできる環境作りに努めます。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	1				・お子さまや親御さまにとっても安心できる適切な人員配置とともに支援資質向上に努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1				・しっかりと物理的バリアーを見極め、安全に過ごしやすい配慮を整えていきたいと思ひます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	1				・テーブルや椅子等については、就学児相当の高さであるため未就学児でも使いやすい(背丈に合った)環境を整えていきたいと思ひます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	1				・お子さまの「楽しみながら」を軸として、療育的手法を活用し成長をサポートさせていただければと思ひます。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	1				・お子さまの「楽しみながら」を軸として、子ども達同士の関係性を重要視しております。エンパワメント方針に基づき引き続きよい支援を目指します。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	1				・環境の変化に敏感な時期と捉え丁寧な声かけに努め、計画目標においてもじっくり進めていきたいと思ひます。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	1				・個性を活かす活動を行い、お子さまの興味関心の広がりから自立に向けて成長できるよう創意工夫を重ねていきたいと思ひます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある				1	・障害の有無に関わらず、多様な交流が生まれる事業所を目指しております。特に地域の方々との交流を積極的に行っていきたいと思ひます。
適切な支援の提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	1				・分かりやすい資料や説明を心掛けていきたいと思ひます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	1				・日々の活動及び支援において、「ねらい」をしっかりと見据えながらお子さまの成長をサポートしていきたいと思ひます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われている	1				・トレーニングに関わらず幅広い視点でご家庭で活かせるツールを考案していきたいと思ひます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	1				・挑戦したこと、できたことを十分に認めながら、保護者さまともより連携を重ねていきたいと思ひます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	1				・発達段階において褒められる、認められる等の自己尊厳はお子さまの成長を著しく促進すると考え、より保護者さまと連携を図っていきたいと思ひます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている				1	・感染症対策を講じたうえで、情報交換・活動報告・支援方針・ご家族さま同士の交流等を図り連携を強化していきたいと思ひます。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	1				・ご意見をいただきやすい、環境を作りながら適切なご対応ができるよう努めていきたいと思ひます。
	17 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされている	1				・各ご家庭状況に沿った分かりやすい情報伝達方法を、工夫していきたいと思ひます。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている				1	・お子さまをはじめとする、保護者さまにも日々の活動、予定が十分に伝わるよう積極的な情報発信に努めていきたいと思ひます。
19 個人情報の取扱いに十分注意されている	1				・プライバシーポリシーを遵守し、安心して通所できる事業所作りに努めていきたいと思ひます。	
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1				・マニュアル策定内容や資料を必要に応じて配布し、保護者さまと連携を重ねていきたいと思ひます。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている				1	・災害時の緊急時対応方法も周知を行い、事業所内においても訓練を重ね非常時に備えていきたいと思ひます。
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしている	1				・お子さま自身の主体性を育み、生き生きとした成長をお手伝いさせていただければと思ひます。
	23 事業所の支援に満足している	1				・将来の自立を見据え、十分な自己尊厳のもと多様なことに挑戦できる力を育むことができるとスタッフ一同邁進いたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。